

## 第22回 経営協議会議事要録

日時 平成20年1月24日(木) 13時30分～15時35分  
場所 事務局第2会議室  
出席者 宮田亮平学長、堀江振一郎理事、玉井賢二理事、  
川井 學音楽学部長、  
石田義雄委員、海老澤 敏委員、佐々木正峰委員、高階秀爾委員、  
中村胤夫委員、根本二郎委員、  
末永壽男会計課長  
監事：竹内雄也監事  
欠席者 六角鬼丈美術学部長

### 議題

#### 1. 東京藝術大学アクションプラン(改訂版)について

議長から標記のことについて提案があり、堀江理事から資料に基づき説明の後、渡邊理事から、これに関連して、報告及び連絡事項「4. 国公立五芸術大学連携協定について」について報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(主な意見)

- ・アクションプランを考えるには、的確な時代認識のもとに芸大の価値観をどう捉えるかであり、結局は基本に立ち返って人間教育を考えること。ベースとなる価値観をしっかりと考えてほしい。また、芸大のブランド戦略を見据えてほしい。
- ・芸術教育の基本は、感性豊かな人間教育であり、この人間教育を支える教養教育が大切である。
- ・年度計画とアクションプランの関係をどう位置付けるか。また、科学の基礎としての感性教育が必要である。
- ・芸術表現に係る学会の設立には、美学会、音楽学会と連携して推進してはどうか。
- ・芸大の行っている教員・学生による教育研究が前提になりアクションプランが成り立つのであり、芸大のよい面として強調しプランに入れてもよいのではないか。
- ・国公立芸術系大学の連携・協力や学会設立はいいことだが、私立大学との連携も考慮するべきである。
- ・外国の音楽系大学は音楽・演劇・舞踊で構成されていることが多く、美術・映像等を含めた総合芸術大学を目指す教育機関としての東京芸大の取り組みとして、演劇・舞踊も視野に入れてほしい。

#### 2. 平成20年度予算編成方針(案)について

議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 3. 東京芸術大学職員就業規則等の改正等(案)について

議長から標記のことについて提案があり、堀江理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 4. その他

特になし

## 報告及び連絡事項

1. 平成20年度概算要求の内示について  
会計課長から、資料に基づき報告があった。
2. 平成18年度決算剰余金の繰越承認について  
会計課長から、資料に基づき報告があった。
3. 平成19年度(補正)国立大学法人施設整備費事業(内示)について  
施設課長から、資料に基づき報告があった。
4. 国公立五芸術大学連携協定について  
議題1.に併せて報告済み。
5. 東京藝術大学出版会について  
総務課参事役から、資料に基づき報告があった。  
(主な意見)
  - ・出版業界は落ち込みが激しく、各出版会は販売不振にあえいでおり、芸大出版会も赤字が出ないよう配慮されたい。
6. 東京藝術大学外国語名称について  
総務課長から、資料に基づき報告があった。
7. 平成19年度寄附金受入状況(10月~12月入金分)について  
会計課長から、資料に基づき報告があった。
8. 東京藝術大学創立120周年記念事業募金の受入状況について  
事務局専門員から、資料及び別添資料に基づき報告があった。
9. 平成20年度役員会、教育研究評議会、経営協議会等の日程について  
総務課長から、資料に基づき報告があった。
10. その他  
映像研究科事務長から、別添カタログに基づき、「東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻一期生修了作品展」について報告があった。